

内容項目名	友情・信頼（内容項目 B－（9））
資料名	「同じ仲間だから」（出典「わたしたちの道徳3・4年」文部科学省）
学校名	山武市立鳴浜小学校 指導者 伊藤 竜麻

1 学習指導案

小学校4年1組 道徳学習指導案

平成29年11月28日（火）5校時

（1）主題名

友達と互いに理解し合って

（2）ねらい

友達の身になって考え、互いに理解し合い、友達を大切にしようとする態度を育てる。

（3）主題設定の理由

本主題は、小学校第3学年及び第4学年内容項目B－（9）友情、信頼「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」に関わる内容である。これは、第1学年及び第2学年内容項目B－（9）「友達と仲よくし、助け合うこと」を受け、小学校第5学年及び第6学年内容項目B－（10）「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」と深く関わっていく。さらに、中学校内容項目B－（8）「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」へ発展していく。

中学年の児童は、気の合う友達同士で仲間を作り、友達と集団で活動することがこれまで以上に多くなる。その一方で、自分の利害に基づいて衝突することも増えてくると考えられる。このような特性から、良好な人間関係を積極的に育成していくことが大切であり、友達のことを互いによく理解し、信頼し、助け合うことの大切さに気付かせることが必要である。そのため、周辺価値である「B－（6）親切」、「思いやりやB－（10）相互理解、寛容」が含まれている。

そこで、本資料を活用し、良好な人間関係を育成するために、自分だけでなく、「自分と異なる意見」についても考え、友達のことを考えて行動することができるよう、話し合い活動を行っていきたい。また、「発表しやすい雰囲気」を作り、互いのよさを発見し合ったり、違いを認め合ったりする態度を養っていききたい。

（4）展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (3)	1 本時の題材について知る。 ・登場人物の紹介		・学習意欲をもたせるため、自分たちが行なった運動会種目「台風の目」の写真を黒板に貼り、登場人物と題材の内容を理解しやすいようにする。
展開 (35)	2 教師の範読を聞く。 (P76の1行目～P77の13行目)		・とも子の気持ちを考えながら聴くように指導する。 ・光夫が、運動が特別苦手な

	<p>3 どうしてもも子はP76の10行目で「そうねえ。」と思ったのか考える。 ○どうしてもも子は、そうねえ。と言ったのでしょうか。</p> <p>4 P77の13行目の後、自分がとも子の立場だったら、ひろしに対して何と言うか、自分の考えをワークシートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分がとも子の立場だったら、ひろしに対して何と言いますか。</p> </div> <p>◎光夫を休ませるか、休ませないか、自分だったらひろしに対して何と言うのかをワークシートに記入し、その理由も書きましょう。</p> <p>5 グループで話し合う。 ○自分が考えたことを、グループの人に伝えましょう。</p> <p>6 全体で話し合う。 ○グループで話し合った上で、自分がとも子だったら、ひろしに対して何と言うか、自分の考えを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光夫のいるチームはいつも負けているから。 ・光夫がいるから勝てない。 ・光夫がいなければ…。 ・勝ちたいから。 ・休んだ方がいいね。 ・けがしているから、無理はしない方がいいね。 ・それくらいのけがだったら大丈夫だよ。 ・本人に聞いてみよう。 ・4と同様。 ・4と同様。 	<p>ことや、とも子たちが「今日こそ勝ちたい」と思っていることを捉えることができるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がとも子の立場だったら、ひろしに対して、光夫を休ませるか、休ませないかを考え、どういう気持ちかを表せるようなワークシートを用意する。 ・考えと理由が書けた児童は、黒板に自分のネームプレートを貼り、考えを視覚的に整理させる。 ・自分の意見だけでなく、自分と異なる友達の理由も考えることで、それぞれの視点から考え、児童がより考えを深められるようにする。 ・グループで話し合い、自分の考えが変わってもよいことを伝える。 ・どの考えも相手のことを考えてのことであることを伝える。
<p>終末 (7)</p>	<p>7 ワークシートに感想を書き、振り返りを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・資料から離れ、これから自分がどうしていきたいかを考え、ワークシートに書かせる。

(5) 他の教育活動との関連

体育科の「小型ハードル走」では、自分の目標記録に積極的に挑戦したり、友達とルールを守り仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりする。

「リズムダンス」では、リズムダンスに進んで取り組み、誰とでも仲良く交流することができるようにする。

「体ほぐしの運動・多様な動きをつくる運動」では、きまりを守り仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりする。

2 事後検討会

(1) 授業記録

T (運動会で行った台風の目の写真を見せながら) これは何の写真ですか。

S 台風の目。

T 楽しかった人。(挙手をさせる) 何で楽しかった？

S 面白かったから。

T 楽しくなかった人。(挙手をさせる) 何で楽しくなかった？

S 負けたから。

T 負けてしまった他の赤組の人、どうだった？

S 負けたけど、盛り上がったから楽しかった。

T くやしくなかったの？

S くやしかった。

T 今日は、この台風の目をテーマに話し合っていきます。

T まず、登場人物の確認をします。(登場人物のイラストの掲示物を見せながら確認する)

T 今から資料を読みますが、とも子さんの気持ちを考えながら聞いてください。(資料を範読する)

T 内容はつかめましたか。2組は水泳大会や台風の目の練習をしていて、どうなの？

S 負けることが多い。

T とも子さんが「そうねえ・・・」と言ったとき、ひろしくんは何と言っているかな。

S 光夫くんがいるんだもん。

T とも子さんが「そうねえ・・・」と言ったのはなぜなのか、となりの人と相談しながらでよいので、考えてみましょう。

T とも子さんが「そうねえ・・・」と言ったのはなぜだと思いますか。

S 今日こそは勝ちたいから。

T 勝ちたいのに、なぜ「そうねえ・・・」と言っているのかな。

S 光夫くんが遅いから。

光夫くんがいると負けやすいから。

T 光夫くんがけがをしまっているのを見て、ひろしくんは何と言っている？

S どうするの？

T 光夫くんは？

S 大丈夫だよ。

T ひろしくんはその後、何て言っている？

S 休んだ方がいいよ。

T (ワークシートを配付する) 自分がとも子の立場だったら、光夫に対して何と言いますか？

- S (自分の考えをワークシートに書き、黒板にあるスケールにネームプレートを貼る)
- T 「休ませる」を選んだ人の理由を教えて。
- S けがが早く治らないといけないから。
けがをしているのに、また台風の目をやったら悪化してしまう。
運動の苦手な人がいると負けてしまうから。
- T 「休ませない」を選んだ人も理由を教えて。
- S 光夫がいないから勝ったと言われてしまうから。
光夫くんができると言っているから。
練習すれば上手くなるかもしれないから。
自分がやりたいと思うなら、やった方がいいと思うから。
休ませたらもっと下手になってしまうから。
- T では、これからグループで伝え合いをします。話し合いでのみんなの約束を確認しましょう。
(掲示物を見ながら「否定しない」「ちゃかさない」「聞き流さない」を全員で唱える)
- T この「3ない」を意識して、話し合いましょう。
- T 話し合った結果、自分の考えがどうなったかをワークシートに書きましょう。考えがさっきと変わっても、そのままでも構いません。考えが変わった人は、ネームプレートを移動しましょう。
(25名中20名がネームプレートを移動させる)
- T まずは「休ませない」から「休ませる」に考えが変わった人、その理由を教えて。
- S けがが悪化してしまうから。
練習で悪化したら本番に出られなくなってしまうから。
- T じゃあ今度は、「休ませる」から「休ませない」に考えが変わった人、その理由を教えて。
- S 練習して上手くなるかもしれないから。
光夫くん抜きで勝っても、全員で勝ったことにならないから。
光夫くん抜きで勝っても、光夫くんは勝てた感じがなくてかわいそうだから。
- T たくさん意見が出ました。どちらが正しいというのではなく、一人一人が自分で考えて判断できたのがよかったね。
- T 色々な考えが出てきたけれど、どの考えも結局は誰のことを考えているのかな？
- S 光夫のこと。
- T そう、相手の気持ちを考えているんだよね。(「相手の気持ちを考えている」と赤で板書)
- T では、授業の最後に今日の授業の感想を書きましょう。感想は、「自分がこれからどうしていきたいか」という視点で書きましょう。
- S これからは相手のことを考えていきたい。
相手の気持ちも、自分の気持ちも大切にしたい。
運動が苦手な人とも一緒にがんばりたい。
運動が苦手な人がいても勝てる方法を考えていきたい。
- T 今日一人一人が自分でしっかりと考え、それを伝えることができましたね。話の聞き方もみんなとても上手になりました。今日学んだ事を活かして、友達との関係をつくっていきましょう。

(2) 授業の感想

(児童の感想)

- ・これからは相手の気持ちと自分の気持ちの両方を考えて行動したいです。
- ・もし、同じ組の子がけがをしてしまったら、練習に出られるかを聞いてから始めようと思います。
- ・これからも相手のことを考えて学校生活を送っていきたいです。
- ・勝ち負けは関係なく、みんなで楽しめるように考えるのが大事だと思いました。
- ・光夫くんを休ませるのではなく、光夫くんがいても勝てる方法を考えればよいと思いました。
- ・友達と話し合ったことで、光夫くんの気持ちをより深く考えることができました。

(参観者の感想)

- ・考えの変容がわかるワークシートを使っていたので、児童も考えを整理しやすかったと思う。
- ・ICTが活用されていてよかった。
- ・スケールやふき出しなどの掲示物がラミネートされていて、何度も使えてよいと思った。
- ・気持ちの変化がわかるような板書やワークシートの工夫がされていてよかった。個人だけでなく、学級全体の考えの流れがよくわかった。
- ・ネームプレートを活用し、誰もが参加できる授業になっていた。
- ・話し合いの場面では友達の意見をよく聞いていて、「議論」が成立していた。
- ・児童の素直な反応や意見、授業態度など頑張る姿が素晴らしかった。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 3ない活動

話し合いの際、「否定しない」「ちゃかさない」「聞き流さない」を意識させ、自分の考えを言いやすい雰囲気づくりをするとともに、他者の考えを真剣に聞き、多様な考えに触れることができるようにする。(本事例だけでなく、各教科・各領域の授業においても行う。)

(2) 学習形態の工夫

一斉ではなく、ペアやグループで話し合いを始めることにより、発表の苦手な児童の話し合いへの抵抗感を取り除く。

(3) 教師によるゆさぶり

「勝ちたいと思うことはいけないことなのだろうか」「それはどうしてだろう」「この行動の背景にはどんなことがあるのだろうか」と教師が児童にゆさぶりをかけていくことで、きれい事や他人事ではない、児童の本音を引き出す。

(4) ワークシートの工夫

スケールレベルに自分の考えを記入したり、最初の自分の考えと話し合いをした後の自分の考えを記入したりすることができるワークシートを用意し、児童の考えやその変容、根拠を教師が把握し、評価できるようにする。

(5) ネームプレートとICTの活用

黒板に掲示されたスケールにネームプレートを貼らせることにより、個人の考えやその変容を視覚的に捉え、考えを整理しやすくする。また、児童の最初の考えをタブレットで撮影しておき、児童の考えがどのように変化したのかを教師が把握しやすくする。

ワークシートを実物投影機で拡大してテレビに映し、教師の指示を児童が視覚的に理解できるようにする。